

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会
2024年度冬季定例記者懇談会

資 料

日 時 2024年12月24日(火) 11:00～12:20
場 所 ホテルメトロポリタンエドモント 2階「万里」

I.	2025年 年頭所感	2
II.	SC業界の動向	
	1. 2024年SC販売統計調査報告	3
	2. 2024年オープンSCの概要	5
	3. 2024年SCの取り組み紹介	12
	4. SC取扱い基準の改定	14
	5. 2025年オープン予定のSC等商業施設	15
III.	2024年の主な協会活動	
	1. 令和7年度税制等改正要望	17
	2. 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞	19
	3. SC経営士会	24
IV.	第49日本ショッピングセンター全国大会	
	1. SCビジネスフェア2025	27
	2. 第30回SC接客ロールプレイングコンテスト	30
V.	その他	
	1. 2025年の主な行事予定	32
別 添	・【レポート】ショッピングセンターにおけるテナント従業員確保のための ディベロッパーとテナントによる意見交換会 ・ SCビジネスフェア2025リーフレット	

※資料内では、SC＝ショッピングセンターと表現しています。

<お願い>

本資料の内容を記事にいただいた場合は、お手数ですが協会事務局まで掲載紙をお送りください。



I. 2025年 年頭所感

2025年 年頭所感

一般社団法人日本ショッピングセンター協会 会長 清野 智
(東日本旅客鉄道株式会社 顧問)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年はウクライナ、パレスチナ問題など、世界的にリスクが高まる不安定な情勢が続きました。一方、日本においては1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」、そしてその能登半島をはじめとして全国各地を襲った“過去に経験したことのない”集中豪雨など、自然災害による危機を身近に感ずる年でした。また、33年振りとなる平均5%超の賃上げや夏季賞与の増加などにより、個人消費の力強い回復が期待されましたが、その一方で、円安や原油高などによる物価上昇や将来に対する漠然とした不安感もあり、消費動向には残念ながら足踏み状態がみられました。

このような状況下ではありましたが、ショッピングセンター（以下、SC）は、物価上昇の影響を受けつつも、SC主催または近隣で行われたイベントなどにより来館者数が増加し、全体的には前年実績を上回る売上げで推移した1年でした。

売上げが回復し、また地域のインフラとしてSCの役割が高まる一方で、2025年以降の最も大きな課題として私たちが考えなければならないのは、人材の確保です。高齢化と人口減少、仕事観の変化などにより、SCにおいても特にテナント従業員の確保が厳しくなっています。地域商業を支えるとともに、生活者が集うコミュニティ機能、子育て支援、雇用創出、災害時のライフライン機能など多様な役割を担い、地域に欠かせない存在へと深化することが、SCの持続的成長に不可欠だと考えていますが、これらの役割を担う人材が十分確保できていないことに対して、私は強い危機感を持っています。

当協会では2023年10月から、ディベロッパーとテナントの関係者が集まり、テナント従業員の人手不足解消に向けて、お互いが何をすべきか議論を重ねてきました。そして、ディベロッパーとテナントが、「働きやすい環境」「安全に働ける環境」「営業時間」などの課題を共有し、理解し合い、それぞれのSCの特性を踏まえて解決に向けて取り組むことを強く推奨する内容をレポートにまとめ、当協会の会員に向けて先般、発信したところです。

2025年はこのレポートの内容を踏まえて各SCが具体的に取り組めるよう、協会としても普及活動や好事例の発信などのフォローアップに注力して参ります。併せて、SCに共通する後方業務である毎日の「売上報告業務」の簡素化・標準化へ向けた作業も進めております。これにより業務効率化、テナント従業員の労働時間短縮が図られ、働きやすい環境づくりに寄与することになると考えております。

さて、1月22～24日の3日間、新年恒例の「第49回日本ショッピングセンター全国大会」をパシフィコ横浜で開催いたします。多くの方々の英知の結集により、今後のSCのあり方について有益な示唆を得られる場になるものと思います。

また、今後のSCのあり方や社会的役割を示唆するSCを顕彰する「第10回日本SC大賞」、および地域貢献に優れたSCを顕彰する「第8回地域貢献大賞（倉橋良雄賞）」について、今年の定期総会で表彰し、業界内外に発信する予定です。

以上のように、今年、2025年もSC業界の発展に向けて鋭意努力して参りますので、引き続き当協会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



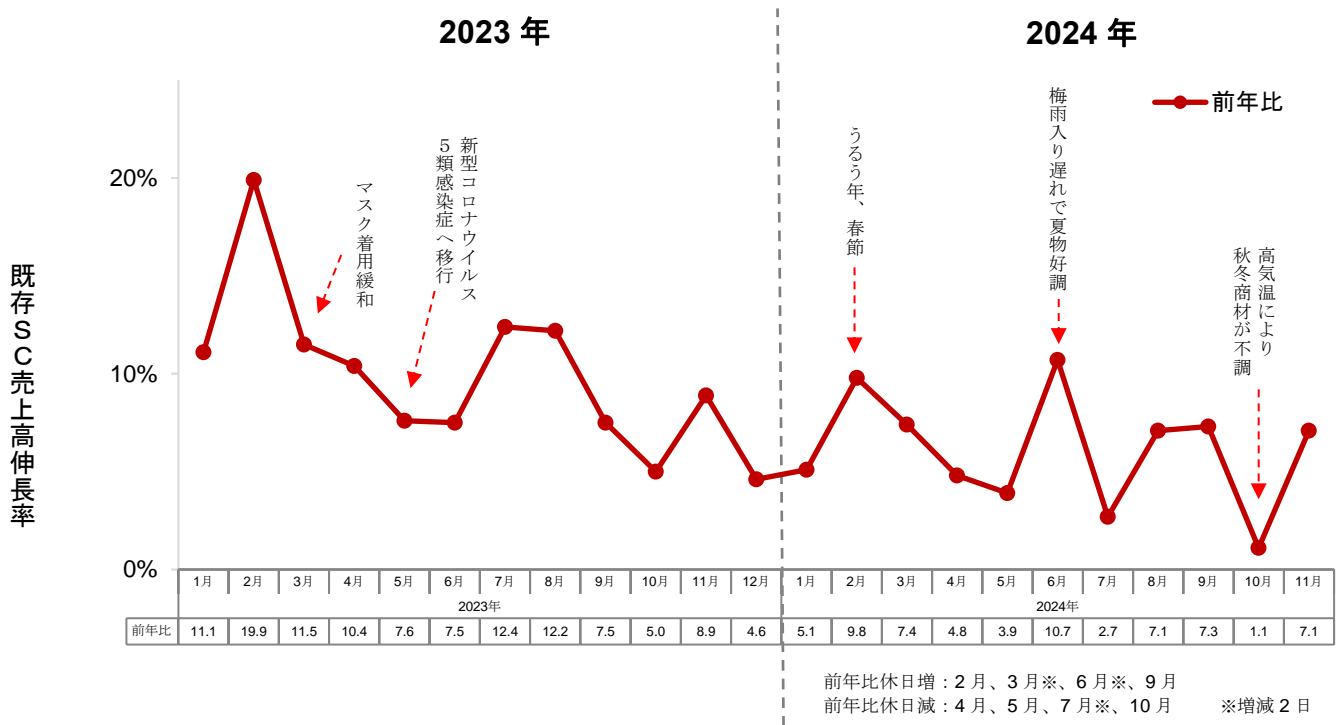
II. SC 業界の動向 1. 2024年 SC 販売統計調査報告

2024年(1~11月) SC 販売動向

館内・近隣イベントの効果や、国内外旅行客の来館増もあり好調に推移

- ・2024年は館内イベント・近隣イベントの開催や大都市を中心にインバウンド客が増えたことにより来館者が増え、前年超えとなりました。
- ・1~3月はインバウンド客に加え、新年会や送別会などの団体利用によって飲食業種が館の売上げを牽引しました。
- ・気温上昇の影響で、夏物商材は4月頃から動きはじめ、残暑が長引いた9月頃まで高稼働しました。
- ・10月は気温が下がらなかったことにより秋冬商材が苦戦しましたが、雑貨や飲食が売上げを支えました。
- ・立地別でみると、中心地域の大都市はインバウンド客が売上げを押し上げました。周辺地域は、レジャー需要にも対応する広域商圏の大型SCが国内外旅行客の来館により好調でした。
- ・一方、中心地域の中都市に立地する近隣型SCについては、猛暑による外出控えなども影響し、伸び悩みました。

既存SC売上高の前年同月比伸長率の推移(2023年1月~2024年11月)



<2024年・各月の概況>

月	伸長率前年比	概況
【1月】	+5.1%	全国的に暖冬となったことで、冬物衣料の動きが鈍かったSCが多かった。初売りやセールで一時的に盛り上がりを見せたものの、月を通してその勢いが持続しなかったとの声がきかれた。そのようななか、飲食業種が新年会などのグループ利用で売上げを牽引し、前年超えとなった。
【2月】	+9.8%	うるう年により営業日数、休日日数が前年に比べて1日多かったことや、春節が2月になったこと、また3連休が2回あったことで国内外旅行者の来館者が増え、前年を上回った。なかでも中心地域の大都市がインバウンド客などの来館により、とくに好調だった。
【3月】	+7.4%	全国的に中旬まで気温が低く春物衣料の動きの鈍かったSCが多かったが、新生活需要による雑貨の高稼働や春休み、卒業式、送別会需要による飲食利用が売上げを牽引し、前年超えとなった。前年に比べて休日が2日多かったことや、館内イベント、カード施策などの販促活動が来館者数の増加に寄与した。
【4月】	+4.8%	前年に比べて休日日数が1日少なかったものの、月後半からの気温上昇による季節商材の稼働や、ゴールデンウィークに伴う旅行者、帰省客の来館により、前年を上回った。月後半からの気温上昇により、春物商材だけでなく夏物商材も稼働した。
【5月】	+3.9%	前年に比べて休日が1日少なかったものの、気温上昇による夏物商材の稼働、大都市を中心にインバウンド客の来館者増加により前年を上回った。国内外旅行者や近隣イベント参加客の来館が好調で飲食業種が売上げを牽引した。
【6月】	+10.7%	前年に比べて休日日数が2日多かったことで売上増につながったSCが多かった。また、梅雨入りが例年より遅れたこと、その間の気温上昇で夏物商材が稼働したことにより、2桁伸長となった。紫外線対策商品や暑さ対策の冷感アイテムが好調だった。
【7月】	+2.7%	多くのSCでサマーセールの実施や夏休みに入り来館者が増加し、猛暑により衣料品や雑貨などの盛夏アイテムが高稼働したことで売上げが前年超えとなった。一方で、前年に比べて休日日数が2日減ったことで来館者が減少し、前年を下回ったSCもみられた。
【8月】	+7.1%	中旬から下旬にかけて台風の影響により営業時間短縮や臨時休館を行ったSCが多かったものの、夏休みやお盆休みに夏祭りなどの地域イベントや館内イベントが多く開催されたことで来館客が増加し、前年を上回った。
【9月】	+7.3%	前年に比べて休日日数が1日多く3連休が2回あったことや、館内外でのイベント開催、ポイントアップなどの販促施策による来館が売上げにつながり、前年を上回った。インバウンド客に加え、3連休で国内旅行者の来館が増えたことで、立地を問わず売上げにつながったSCが多かった。
【10月】	+1.1%	全国的に10月としての過去最高気温を記録するなど暑さが続いたことで秋冬商材が苦戦したほか、前年同月に比べて休日日数が1日少なかったことが影響し売上げが伸び悩んだが、キャラクターなどの雑貨や飲食業種が売上げを支え、前年を上回った。立地別にみると、中心地域は総合で+4.5%、周辺地域は同▲0.5%と、周辺地域が2年8カ月ぶりにマイナスとなった。
【11月】	+7.1%	中旬から気温が低下したことに加え、館の周年企画やポイント施策、ブラックフライデーなどのセールにより冬物商材が稼働した。中心地域・大都市では繁華街のSCなど、インバウンド客の来館が多かったSCがとくに好調だった。

II. SC 業界の動向 2. 2024 年オープン SC の概要

2024 年オープン SC の概要 (速報)

新規開業数は前年並み

店舗面積 1 万㎡未満の SC が全体の約 7 割を占める

- ・新規開業数は36SCでほぼ前年並みとなりました。2022年(36SC)、2023年(34SC)と、コロナ禍で新規開業が激減した2021年以降の3年間では、開業数は35前後のペースで推移しています。
- ・平均店舗面積は前年より約6,310㎡減と大きく減少しました。店舗面積10,000㎡未満のSCは全体の約7割を占め、小型のSCの開発が目立ちました。
- ・地域別の開業割合は、もっとも多いのが関東・甲信越(13SC)、次いで近畿(7SC)、九州・沖縄(6SC)が続き、上位は前年と同順位となりました。
- ・閉店等の数が開業数を上回ったため、2024年末SC総数は前年末から2SC減で、2019年以降6年連続減となる見込みです。

(1) 2024年オープンSCの概要

【1】2024年オープンSC数

オープンSC数			平均店舗面積	平均テナント数
	中心地域	周辺地域		
36	5	31	10,858 ㎡	41 店舗

2024 年末 SC 総数 (速報値) 3,090

(内訳)

2023 年末 SC 総数 3,092

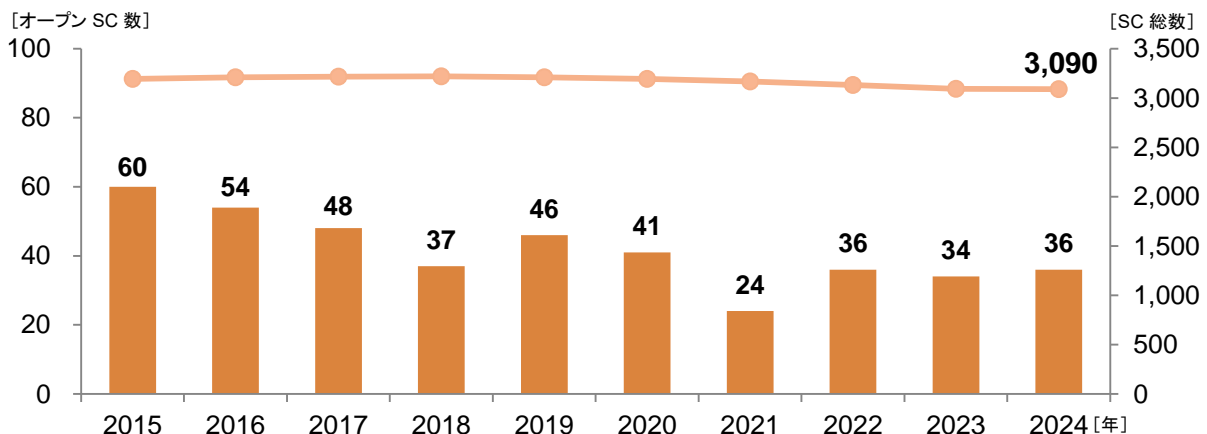
オープン SC 数 +36

閉店等 ▲38

計 3,090

※閉店理由としては、建物老朽化や競合激化、人口減などのSCを取り巻く商業環境の変化による売上不振がある。また、閉店後に建て替えて新たな商業施設としてオープンする予定のものもある。

【2】オープンSC数およびSC総数の推移



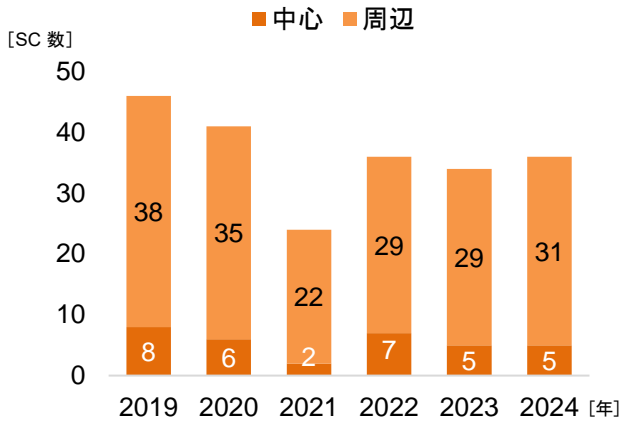
(2)オープン SC の過去年との比較

【1】オープン SC 数・平均店舗面積・平均テナント数

[年]

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
SC 数	46	41	24	36	34	36
平均店舗面積	15,839	17,102	21,424	17,247	17,168	10,858
平均テナント数	50	55	60	48	48	41

【2】立地別オープン SC 数



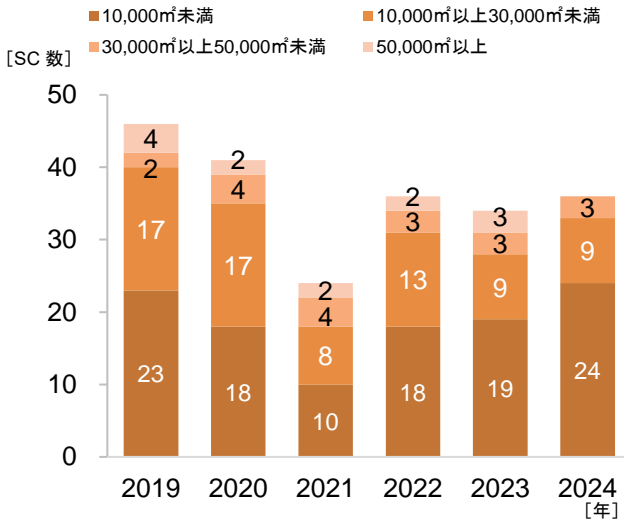
【3】地域別オープン SC 数

[年]

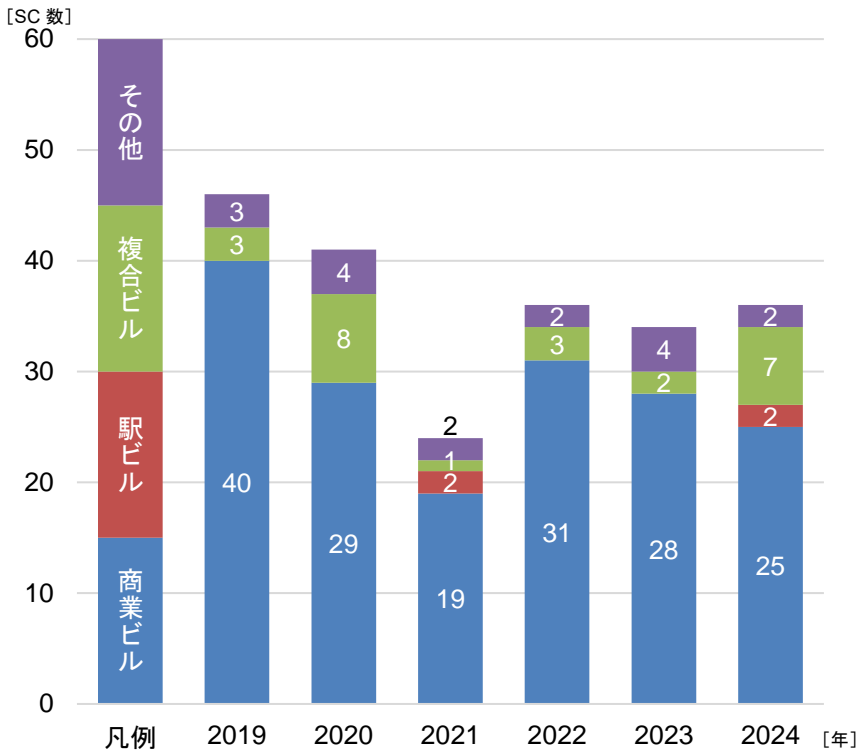
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
北海道	2	0	0	0	2	1
東北	2	0	1	2	3	2
関東・甲信越	20	24	9	12	14	13
中部	3	4	5	6	3	4
近畿	9	5	5	8	6	7
中国・四国	2	1	0	3	1	3
九州・沖縄	8	7	4	5	5	6
計	46	41	24	36	34	36

都道府県別では、東京 6、埼玉・神奈川・大阪各 3

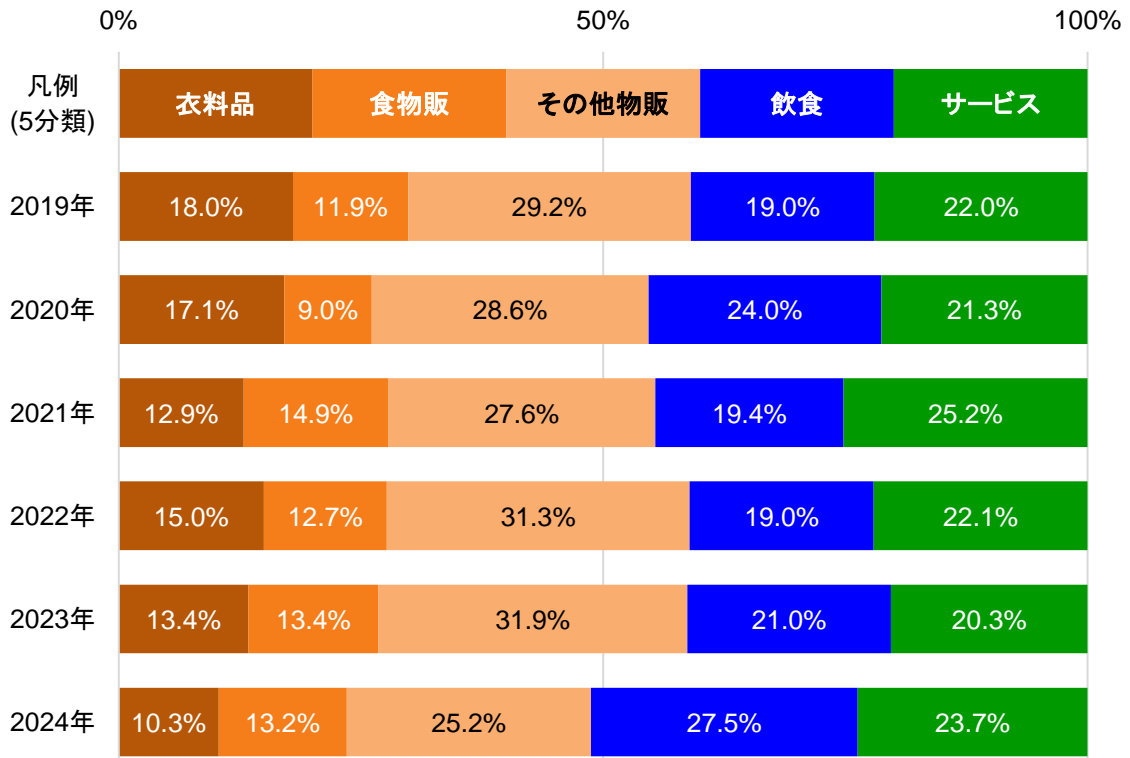
【4】店舗面積別オープン SC 数



【5】ビル形態別オープン SC 数



【6】オープン SC の業種別テナント数構成比



- ・テナントの業種別構成比は、物販がすべて前年より減少し、飲食とサービスが増加した。
- ・コロナ禍前の2019年との比較では、衣料品が大幅に減少した一方、飲食が大幅に増加した。コロナ禍でECの伸びが加速するなか、SC（リアル店舗）にはモノ消費からコト消費へシフトしている背景がある。

(3)2024年オープンSC一覧

No	オープン日 *注1	SC名	所在地	立地	ディベロッパー	店舗面積 (㎡) *注2	テナント 数	キーテナント
1	2月	虎ノ門ヒルズ ステーションタワー	東京都 港区	周辺	森ビル(株)	11,200	80	
2	3月1日	三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG	東京都 中央区	周辺	三井不動産(株)、 三井不動産商業 マネジメント(株)	10,100	39	サミットストア ららテラス HARUMI FLAG 店
3	3月1日	ROKKO i PARK	兵庫県 神戸市東灘区	周辺	大栄環境(株)、 (株)SC コミュニケー ーションズ	8,319	11	ヤマダストアー 六甲アイランド店
4	3月16日	くるふ福井駅	福井県 福井市	中心	金沢ターミナル開発(株)	3,810	43	
5	3月19日	コープ調布染地店	東京都 調布市	周辺	生活協同組合 コープみらい	2,648	15	コープ調布染地店
6	3月22日	TAKAMATSU ORNE (タカマツ オルネ)	香川県 高松市	周辺	JR 四国ステーシ ョン開発(株)	8,800	51	
7	3月28日	そよら鈴鹿白子	三重県 鈴鹿市	周辺	イオンリテール(株)	7,690	11	イオンスタイル 鈴鹿白子
8	3月29日	イオンタウン浜松新橋	静岡県 浜松市中央区	周辺	イオンタウン(株)	5,190	10	マックスバリュ 浜松新橋店
9	4月3日	iiNE マルシェ	愛知県 名古屋市瑞穂区	周辺	中電不動産(株)、 (株)プライムプレイス	4,500	13	
10	4月5日	クロス向ヶ丘	神奈川県 川崎市多摩区	周辺	野村不動産(株)、 野村不動産コマース(株)	6,771	12	イオンフードスタイ ル向ヶ丘店、ノジマ クロス向ヶ丘店
11	4月17日	東急プラザ原宿 「ハラカド」	東京都 渋谷区	中心	東急不動産(株)、 東急不動産 SC マネジメント(株)	7,459	71	
12	4月23日	中日ビル	愛知県 名古屋市中区	周辺	中部日本ビルディング(株)	5,734	92	
13	4月26日	そよら横浜高田	神奈川県 横浜市港北区	周辺	イオンリテール(株)	5,041	12	イオンスタイル横浜高田
14	4月	TOKUYAMA DECK (徳山デッキ)	山口県 周南市	周辺	(株)パークタウン商業運営	6,542	25	
15	5月15日	the market Place 武蔵浦和	埼玉県 さいたま市南区	周辺	(株)ヤオコー	4,506	16	ヤオコー武蔵浦和店
16	5月23日	ゆめモール合志	熊本県 合志市	周辺	(株)イズミ	5,400	15	ゆめマート合志
17	6月27日	イオンタウン 日田ショッピングセンター	大分県 日田市	周辺	イオン九州(株)	9,732	12	ザ・ビッグ 日田店
18	6月28日	そよら金剛	大阪府 大阪狭山市	周辺	イオンリテール(株)	5,800	15	イオンスタイル金剛
19	7月11日	monaka (モナカ)	岩手県 盛岡市	周辺	(株)モナカ	5,656	42	
20	7月13日	そよら福井開発	福井県 福井市	周辺	イオンリテール(株)	5,264	11	イオンスタイル福井開発

21	7月25日	Shibuya Sakura Stage	東京都 渋谷区	中心	東急不動産(株)、 渋谷駅桜丘口地区 市街地再開発組合	15,200	60	
22	7月25日	ゆめが丘ソラトス	神奈川県 横浜市泉区	周辺	(株)相鉄アーバン クリエイツ、 (株)相鉄ビルマネ ジメント	42,700	127	テックランド ゆめが 丘ソラトス店、 109 シネマズゆめが丘
23	7月31日	KITTE 大阪	大阪府 大阪市北区	中心	日本郵政不動産(株)、 JPビルマネジメント(株)	16,000	106	
24	7月	皿倉テラス	福岡県北九州市 八幡東区	周辺	(株)スピナ	2,629	13	
25	8月7日	コーナン 京葉船橋インター店	千葉県 船橋市	周辺	コーナン商事(株)	21,234	15	コーナン京葉船橋 インター店
26	8月	Paix Paix (ペッペ)	福島県 いわき市	周辺	真砂不動産(株)	6,735	10	ヨークベニマル いわき平店
27	9月6日	グラングリーン大阪 ショップ&レストラン 北館	大阪府 大阪市北区	周辺	阪急電鉄(株)、 阪急阪神ビルマ ネジメント(株)	2,640	14	
28	9月13日	イオン旭川春光 ショッピングセンター	北海道 旭川市	周辺	イオン北海道(株)	6,000	24	イオン旭川春光店
29	9月24日	エミテラス所沢	埼玉県 所沢市	中心	(株)西武リアルテ ィソリユেশヨ ンズ、SMFLみ らいパートナー ズ(株)、住友商事 (株)、住商アー バン開発(株)	43,000	142	
30	9月25日	ヤオコー東鷺宮店	埼玉県 久喜市	周辺	(株)ヤオコー	4,231	13	ヤオコー東鷺宮店
31	9月27日	イオンスタイル てだこ浦西駅前	沖縄県 浦添市	周辺	イオン琉球(株)	16,469	14	イオンスタイル てだこ浦西駅前
32	10月14日	長崎スタジアムシティ	長崎県 長崎市	周辺	(株)ジャパネットホ ールディングス、 (株)リージョナルク リエーション長崎	19,200	68	フードウェイ長崎 スタジアムシティ店
33	10月	EQUiA竹ノ塚	東京都 足立区	周辺	東武鉄道(株)	3,893	26	
34	11月21日	イオンかのや ショッピングセンター	鹿児島県 鹿屋市	周辺	イオン九州(株)	15,174	20	イオンかのや店
35	11月26日	三井アウトレットパーク マリニピア神戸	兵庫県 神戸市垂水区	周辺	三井不動産(株)、 三井不動産商業 マネジメント(株)	32,000	145	
36	12月6日	イオンタウン楽々園	広島県 広島市佐伯区	周辺	イオンタウン(株)	13,610	70	マックスバリュ楽々園
(店舗面積計) 約 390,877 m ²								

注1: オープン日はSC取扱い基準を満たした日。

注2: 各SCの店舗面積は小数点以下を四捨五入した値であるため、店舗面積計と各SCの店舗面積を合計した値は必ずしも一致しない。
また、店舗面積が非公表のSCについては大店立地法の届出面積等を記載している。

(4)オープン SC の主な特徴

キーワード1 『地域住民の生活を支える食やコミュニティ機能を小型施設に凝縮』

近隣居住者が日常的に利用できるよう、食を充実させ、くつろげる空間を設けるなど、地域の日々の暮らしを支える機能を充実させた小型 SC が目立ちます。

iiNE マルシェ／愛知県名古屋市瑞穂区 (2024年4月3日オープン)

「住・商・憩」のある多世代共生の街として誕生した「iiNE タウン瑞穂」にオープンした複合商業施設。生鮮食品を中心に、医療品や日用雑貨などを扱うショッピング施設に加え、医療・介護・子育て支援施設からなる。



画像提供：㈱プライムプレイス

イオンタウン楽々園／広島県広島市佐伯区 (2024年12月6日オープン)

「HAPPY TIME GARDEN 楽々園」をコンセプトとし、日々の食卓を彩る多様な飲食・食物販を中心に、地域住民の暮らしをサポートする専門店が多数出店。壁面緑化や館内に植栽を多く設け、緑豊かなコミュニティ空間を創出している。



画像提供：イオンタウン㈱

キーワード2 『カルチャー、スポーツとの融合』

オフィス、ホテル、住宅との複合開発にカルチャーやスポーツの要素をプラスして体験価値を高めた SC 開発がみられます。

Shibuya Sakura Stage／東京都渋谷区 (2024年7月25日オープン)

趣味を楽しむ桜丘エリアに根付くカルチャーを守り次世代に継承するテナント、また最先端のトレンドやカルチャーを創出・発信するテナントが揃っている。



画像提供：東急不動産㈱

長崎スタジアムシティ／長崎県長崎市 (2024年10月14日オープン)

スポーツ・地域創生事業に取り組むジャパネットグループが開発した、サッカースタジアムを中心にアリーナ・ホテル・商業施設・オフィスなどからなる施設である。



画像提供：長崎スタジアムシティ

(参考)2023年末のSC概況

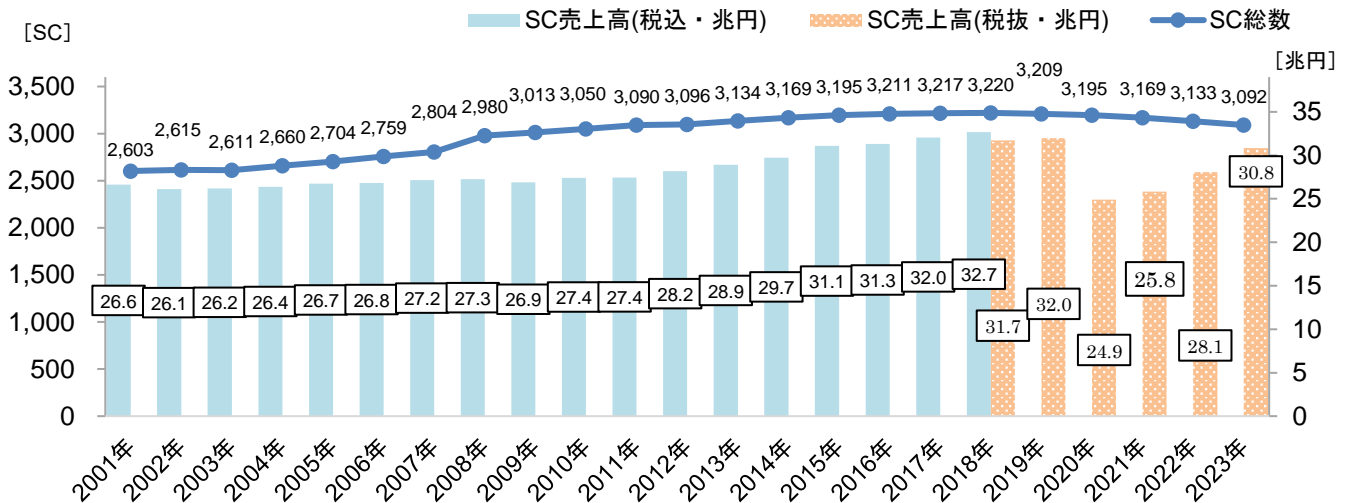
図表 1-1 SC総数、店舗面積等の年別推移

年 (暦年)	SC総数 *注1	総テナント数 (店舗)	総キーテナント数 (店舗)	1SCあたり テナント数 (店舗)	総店舗面積 (㎡) *注2	1SCあたり 店舗面積 (㎡)	SC年間総売上高 [推計値] (百万円) *注3
2010	3,050	149,420	2,715	49	44,179,274	14,514	27,411,000
2011	3,090	151,462	2,728	49	45,697,455	14,789	27,439,800
2012	3,096	151,774	2,730	49	46,399,010	14,987	28,187,600
2013	3,134	154,659	2,771	49	47,869,188	15,274	28,920,900
2014	3,169	157,164	2,865	50	49,760,294	15,702	29,738,500
2015	3,195	159,131	2,908	50	50,770,809	15,891	31,077,900
2016	3,211	159,066	2,931	50	51,724,612	16,109	31,325,900
2017	3,217	160,591	2,936	50	52,531,060	16,329	32,035,500
2018	3,220	161,960	2,928	50	53,193,597	16,520	32,659,500
2019	3,209	163,437	2,916	51	53,651,811	16,719	31,969,400
2020	3,195	163,613	2,927	51	53,991,842	16,889	24,901,600
2021	3,169	163,992	2,901	52	54,302,789	17,136	25,839,200
2022	3,133	164,653	2,889	53	54,350,047	17,348	28,089,700
2023	3,092	163,712	2,876	53	54,413,963	17,598	30,826,000

注1 店舗面積は、SC内の物品販売業、飲食業、サービス業それぞれの店舗区画の面積。店舗間の通路は含まない。

注2 SC年間総売上高は、協会が毎月実施しているSC販売統計調査から得られたSCの面積あたりの年間販売額の推計値を基に算出した値。2018年までは消費税込、2019年以降は消費税抜。

図表 1-2 SC総数と年間総売上高の推移



注 SC年間総売上高については、図表 1-1 の注2 参照。

II. SC 業界の動向 3. 2024 年 SC の取り組み紹介

2024 年における SC の取り組み

子どもや若者の“居場所”づくり／人材確保対策 広がるアルムナイ採用

キーワード1 子どもや若者の“居場所”づくり

家庭や学校に居場所を見出せず、悩みや問題を誰にも打ち明けられずに社会で孤立する子どもや若者が社会問題となっています。近年は行政や地域団体などと連携して、こうした子どもや若者の“居場所”づくりに取り組む事例が増えつつあります。

事例)

フードコートに“若者の居場所”

ラブリーパートナー エルパ
&「こみかる ユース福井」
(福井県福井市)



地域おこし協力隊やコミュニティナース、若手経営者などで構成される「こみかる ユース福井」とともに、2階のフードコート内に、若者が気軽に立ち寄って自由に過ごせる無料の“居場所”を開設。常駐する団体メンバーに疑問や不安なことを相談したり、挑戦したいことのアドバイスを求めたりすることもできる。

画像提供: こみかるユース福井

フリースクール(学べる居場所)

キューズモール(もりのみや／あべの)
&「HELLOlife」
(大阪府大阪市)



(特非)HELLOlife とともに、SC を舞台にリアルな仕事体験ができる「はたらく フリースクール」を期間限定(2024年11月4日～29日)で開催。対象は、不登校傾向にある、10～15歳の小中学生。ユニークな「求人票」から選択し、実際に SC 内の店舗などで仕事体験してもらった。

画像提供: (特非)HELLOlife

こども食堂

ヘイワールド!!
&「ひなとま食堂」
(埼玉県北本市)



鴻巣市や北本市でこども食堂を運営する「ひなとま食堂」とともに、第1、2、3金曜日(15:00～20:00)に館内3階ステージ広場でこども食堂を開催。18歳以下のこどもとその保護者、妊娠中のプレママ・プレパパ、こどもだけでも利用できる。

画像提供: ひなとま食堂

キーワード2 人材確保対策 広がるアルムナイ採用*

働き手不足の解決策の1つとして「アルムナイ(カムバック)採用」が注目されています。SC業界でもテナント従業員やディベロッパー社員などの採用で普及しつつあります。

※アルムナイ(カムバック)採用=自己都合などで自社を退職した人(アルムナイ)を再雇用する採用手法。

事例) 採用対象:テナント従業員

■ディベロッパー例:(株)小田急SCディベロップメント

同社運営施設内の勤務経験者が再度同一施設内の店舗で採用された場合、採用施設で利用できる5,000円分のギフトカードをプレゼントする「店舗スタッフカムバックキャンペーン」を実施。受付期間は2024年9月27日～12月20日。対象者は、対象施設で受付期間内に採用された店舗スタッフで、以前同一施設内にて勤務経験がある方で、2019年9月以降に退職されていて従前の在籍期間が6カ月以上の方。



画像提供: (株)小田急SCディベロップメント

■テナント例:(株)ファンケル

2024年3月から、店舗スタッフ退職者のアルムナイ採用制度「ファンケルカムバック採用」を強化。退職者とネットワークを構築するために、同社と退職者の専用グループSNSをつくり、そこで会社情報や採用情報などを定期的に配信する。また退職者専用の応募ルートの新設。特別な選考ルートを用意し、即戦力人材の確保につなげていく。



画像提供: (株)ファンケル

採用対象:ディベロッパー社員

■イオンモール(株)

退職者とのつながりを強化する「イオンモールアルムナイネットワーク」(アルムナイ同士で情報交換できる SNS)を構築し、同社の自己都合退職者を対象とした「ウェルカムバック採用」、同社社員の人的ネットワークを生かした「社員紹介採用」を開始したほか、2025年度入社の新卒採用から、内定辞退者に対し、新卒3年以内に入社を希望する場合は優遇枠を設定する「絆採用」を開始する。

(参考) 日本ショッピングセンター協会のテナント従業員の人手不足解消に向けた取り組み

2015年度に「人材確保対策小委員会」を設置し、2018年1月にはテナント従業員のステータス向上と人材確保を目指した「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」(以下、ES宣言)を発表しました。

以後、さまざまな情報発信などを通じて、人材確保対策に取り組んできましたが、テナント従業員の人手不足はさらに厳しさを増しています。

将来のさらなる人口減少を見据え、ES宣言を受けた取り組みをより一層強化しなければならないという認識のもと、当協会ではさらなる人材確保対策の推進に向けて、「ディベロッパーとテナント企業による意見交換会」を2023年10月に立ち上げました。2024年12月には、テナント従業員の人手不足解消に向けた「重点項目」「重点項目の取組に向けたアクションフロー」を会員に発信し、会員のSCにおける人手不足解消に取り組んでいます。

<p style="text-align: center;"><重点項目></p> <p>各SCでディベロッパーとテナントが「働きやすい環境の整備」「安全に働ける環境の整備」「営業時間の弾力的運用」を重点項目とする「対話」を実施することを強く推奨</p>	<p style="text-align: center;"><重点項目の取組に向けたアクションフロー></p> <p>ディベロッパーとテナントが各々の「自己点検」を実施したうえで、両者による「対話」と「対策」そして効果検証のうえ再度「対話」に戻るサイクルを推奨</p>
<p style="text-align: center;">テナント従業員の確保に向けた対話の量的・質的改善</p> <p>SC毎に、ディベロッパーとテナントが課題を確認・共有し、課題解決に向けた対話とフィードバックを実施</p> <p style="text-align: center;">+</p> <p style="text-align: center;">対話における重点項目(*)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">働きやすい環境の整備</p> <p>【推奨する取組例】 従業員同士のコミュニケーション機会創出 / 業務の省力化・省人化、売上報告の効率化、IT活用 / 従業員休憩室等の整備 など</p> <p style="text-align: center;">安全に働ける環境の整備</p> <p>【推奨する取組例】 災害時対応の早期判断・スムーズな連絡体制 / カスタマーハラスメントへの対応 / 夜間の従業員駐車場の安全確保 など 各SCで点検し課題を抽出</p> <p style="text-align: center;">営業時間の弾力的運用</p> <p>【推奨する取組例】 テナントごとの営業時間フレックス制 / 全館休業日数増(元日休館) / テナントご任意休業日や半休 など</p> </div> <p>(*)【推奨する取組例】を記載したが、具体的な取組は各SCの地域・テナントの業種特性等を鑑みて柔軟に対応</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">自己点検</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> <p style="text-align: center;">ディベロッパーとテナント双方の経営層および現場がテナント従業員の充足度や離職状況を把握</p> <p>【推奨アクション例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>ディベロッパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テナント従業員入館ID発行・従業員の入替わり状況の定点チェック/分析 ・テナント従業員の営業終了後の業務の確認(営業終了から退館までの時間の把握など) ・カスタマーハラスメントの状況把握、情報共有アプリの導入 </div> <div style="width: 45%;"> <p>テナント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の従業員充足度、離職理由、労働時間の把握 ・テナント従業員の営業終了後の業務の確認(営業終了から退館までの時間の把握など) </div> </div> </div> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">対話</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> <p>① ディベロッパーとテナントはSCの状況の共有、テナントの現況及びニーズ把握を目的とした対話を実施</p> <p>② 対話を受けて、ディベロッパーは対策の実施等についてテナントへフィードバックを実施</p> <p>【対話で触れるべき事項】 前ページの「重点項目」とする</p> </div> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">対策</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> <p>ディベロッパーはテナントとの合意に基づく対策を具体化(短期実証含む)</p> <p>【例】 トライアルで元日休業を実施して結果を検証</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">検証</p> </div> </div>

II. SC 業界の動向 4. SC 取扱い基準の改定

社会環境などの変化を見据えて
SC 取扱い基準を改定

2025年1月より新基準を適用、41施設がSCへ

「ショッピングセンター（以下、SC）取扱い基準」を、**2025年1月1日**から以下のように改定します。現存する1,000㎡以上の大型小売店のうち、SC取扱い基準の改定に伴って新たにSCとなるのは**41施設（2024年12月24日時点）**です。

※本紙5ページ記載の「2024年末SC総数(速報値)」に新基準を適用した場合は、3,090SC+41SC=計3,131SC(速報値)となる。

(1) 改定の背景

わが国SCのあるべき姿として規定するために1974年12月に制定された「SC定義」「SC取扱い基準」は、直近の2009年の改定から15年が経過し、その間ECの台頭やコロナ禍による生活様式の変化などにより、SCを取り巻く環境は大きく変化しました。また、SCにはリアル店舗でしか味わえない「体験価値」が求められるようになり、サービステナントの誘致や共用空間の環境演出・拡充に力を入れるSCが多くみられます。

そうしたなか、物販テナントが退店した後に飲食テナントやサービステナント、公共施設、オフィスなどが入居し、物販面積1,500㎡を満たさなくなる施設が散見されます。また、新規開業する商業施設はテナント1店舗当たりの面積拡大やテナント数が10店舗未満であるなど、1万㎡未満の小型の商業施設を中心に現行のSC取扱い基準に満たない施設が増加傾向にあります。

これらの状況を踏まえ、「SC取扱い基準」を改定することとしました。

(2) SC 取扱い基準の改定

〈SC 取扱い基準〉

現行	新基準（2025年1月1日～）
1. 小売業の店舗面積は、 1,500㎡以上 であること。	1. 小売業の店舗面積は、 1,000㎡以上 であること。
2. キーテナントを除く テナントが10店舗以上含まれていること。	2. テナントが10店舗以上含まれていること。
3. キーテナントがある場合、その面積 がショッピングセンター面積の80%程度を超えないこと。但し、 その他テナントのうち 小売業の店舗面積が 1,500㎡以上 である場合には、この限りではない。	3. 最大店舗の面積 がショッピングセンター面積の80%程度を超えないこと。但し、 最大店舗の面積を除いた 小売業の店舗面積が 1,000㎡以上 である場合には、この限りではない。
4. テナント会（商店会）等があり 、広告宣伝、共同催事等の共同活動を行っていること。	4. 広告宣伝、共同催事等の共同活動を行っていること。

【参考】〈SC 定義〉 ※こちらは変更ありません。

SCとは、1つの単位として計画、開発、所有、管理運営される商業・サービス施設の集合体で、駐車場を備えるものをいう。その立地、規模、構成に応じて、選択の多様性、利便性、快適性、娯楽性等を提供するなど、生活者ニーズに応えるコミュニティ施設として都市機能の一翼を担うものである。

(3) 新基準によってSCとなる主な施設

施設名	届出面積	テナント数	SCとなった理由
郡山食品館ピボット	1,450㎡	18店舗	小売業の店舗面積（届出面積）1,000㎡以上を満たす。
イオンタウン金成	8,933㎡	10店舗	キーテナントを含めるとテナント10店舗以上を満たす。
マツバラテラス	7,427㎡	13店舗	キーテナントとなる大型専門店が複数あり、最大店舗の面積とした場合、ショッピングセンター面積の80%程度未満となる。

II. SC 業界の動向 5. 2025年オープン予定のSC等商業施設

2025年オープン予定のSC等商業施設

新規開業予定は統計開始以来最少の16施設

1万㎡以上の施設が約8割と中大型の開発が目立つ

- ・2025年の新規開業予定は16施設(2024年12月20日時点)^{*}で、統計開始以来最少となります。
 - ・人口減少、市場の伸び悩みを背景にSCの飽和化が進んでいることに加え、資材価格、建築コストの高騰により開発を先延ばしにするケースもみられます。
 - ・開業予定の施設は1万㎡以上の施設が約8割で、うち3施設は5万㎡超の大型施設。商業施設を全国展開している大手ディベロッパーによる開発が目立ちます。
 - ・関東・甲信越が最多の8施設、都道府県別では埼玉、東京、愛知、大阪にて各2施設が開業予定です。
- ^{*}小型SCは全体的に広報発表が開業近くとなることが多いため、現時点では2025年オープンの施設を把握できないことが多い。

(オープン予定時期順、12月20日時点)

No.	オープン 予定時期 ^{*注1}	SC等商業施設および計画名 ^{*注2}	所在地	ディベロッパー	店舗面積等 (㎡) ^{*注3}
1	3月5日	minanoba 相模原	神奈川県相模原市南区	東京建物(株)、 (株)プライムプレイス	3,533
2	3月21日	グラングリーン大阪 ショップ&レストラン 南館	大阪府大阪市北区	三菱地所(株) ほか	16,000
3	3月24日	minamoa (ミナモア)	広島県広島市南区	西日本旅客鉄道(株)、 中国SC開発(株)	約25,000
4	3月	そよら入曽	埼玉県狭山市	イオンリテール(株)	5,806
5	3月 ^{*注4}	ニューマン高輪	東京都港区	(株)ルミネ	約60,000
6	4月24日	ONE FUKUOKA BLDG.	福岡県福岡市中央区	西日本鉄道(株)	約16,000
7	4月	三井ショッピングパーク ららぽーと安城	愛知県安城市	三井不動産(株)	約60,300
8	5月	ヨークベニマル宇都宮一条計画	栃木県宇都宮市	(株)ヨークベニマル	4,010
9	5月	三井ショッピングパーク ららテラス川口	埼玉県川口市	三井不動産(株)	約21,500
10	春	イオンタウン松阪船江	三重県松阪市	イオンタウン(株)	約19,000
11	春	そよら長原駅前	大阪府大阪市平野区	イオンリテール(株)	7,500
12	6月	三井ショッピングパーク ららテラス北綾瀬	東京都足立区	三井不動産(株)	約16,400
13	8月	イオン三条上須頃	新潟県三条市	イオンリテール(株)	16,494
14	秋	イオンモール仙台上杉	宮城県仙台市青葉区	イオンモール(株)	約29,000
15	秋	イオンモール須坂	長野県須坂市	イオンモール(株)	約63,000
16	秋	(仮称)三井アウトレットパーク 岡崎	愛知県岡崎市	三井不動産(株)	約49,800

注1: オープン予定時期は大店立地法届出情報、各企業発表の内容等に基づき、SCの定義に該当すると見込まれる時期としている。
また、SC名称等は仮称。

注2: すべての商業施設がSCの基準を満たすかどうか現時点では不明であるため、「SC等商業施設」としている。

注3: 上記店舗面積は大店立地法届出面積や延床面積である場合もあるので、店舗面積等とした。

注4: 「ニューマン高輪」…2025年3月まちびらき一部先行開業、2025年秋 THE LINKPILLAR 1 (ザリンクピラーワン) 開業、2026年春 THE LINKPILLAR 2 (ザリンクピラーツー) 開業。

(順不同)

ニューマン高輪

(3月まちびらき一部先行オープン、秋 THE LINKPILLAR 1 オープン、2026年春 THE LINKPILLAR 2 オープン/東京都港区)



画像提供：櫛ルミネ

minamoa(ミナモア)

(3月24日オープン/広島県広島市南区)



画像提供：JR西日本

三井ショッピングパーク ららぽーと安城

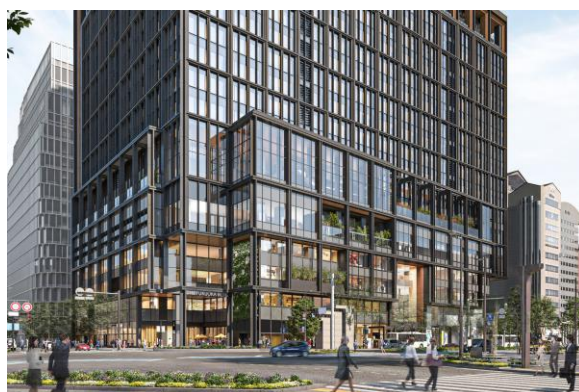
(4月オープン/愛知県安城市)



画像提供：三井不動産株

ONE FUKUOKA BLDG.

(4月24日オープン/福岡県福岡市中央区)



画像提供：西日本鉄道株

イオンモール須坂

(秋オープン/長野県須坂市)



画像提供：イオンモール株

(仮称) 三井アウトレットパーク 岡崎

(秋オープン/愛知県岡崎市)



画像提供：三井不動産株

Ⅲ. 2024年の主な協会活動 1. 令和7年度税制等改正要望

令和7年度税制等改正要望

豊かな消費社会の実現に向け、国の経済、社会の発展に貢献していくため、社会課題に対する取り組みや人手不足対策への税財政等に係る20の項目を要望

2024年のSC業界は、緩やかな物価上昇と賃上げの拡大により、コロナ禍で停滞していた国内消費も回復基調に乗りつつあります。一方、物価高、資源高などのコスト高がSCの経営を圧迫しています。

カーボンニュートラルへの取り組み推進や、頻発する災害への対応など、地域社会への貢献を使命とするSCの役割はますます重要性を増すなかで、人手不足の深刻化によりテナント運営は逼迫しています。このような状況を踏まえて本年は20の項目を要望しました。

<社会課題に対する取り組み支援>

- 地域の社会的インフラ機能、防災拠点としての災害対策、バリアフリーに対する支援…②⑬
- ディベロッパーやテナントでもDXを推進できるようにするためのDX投資促進税制等の延長と拡大…③
- カーボンニュートラル、EV充電設備設置、木材を活用した建築物等の環境対策への支援措置充実…④⑱
- 外国人旅行者向け免税制度における抜本的な改正に伴う小売現場の負担の軽減…⑪
- 中心市街地の商業施設等の改修・利活用に係る支援措置の要件緩和…⑬

<人手不足対策への支援>

- パート従業員の税と社会保障の「壁」の解消に向けた抜本的な制度改正…⑦
- 「特定技能」の職種への「販売職」「警備業」の追加指定等、外国人労働者の受け入れ要件緩和…⑨
- 企業主導型保育事業に係る支援措置の復活と運営条件の緩和…⑩

※末尾の数字は、17～18ページに記載のある各項目と対応

なお、以上を含めた「令和7年度税制等改正要望」について、国土交通省および経済産業省それぞれと意見交換会を設け、SC業界の現況をお伝えするとともに、両省幹部に対して直接要望を行いました。

「令和7年度税制等改正要望」の概要**①商業施設の固定資産税等に係る措置**

土地の保有の継続を前提とし使用収益し得る価値に応じた課税や公道地下街にかかる道路占有料の負担軽減措置、家屋及び償却資産に係る固定資産税の課税標準額の引き下げ

②防災施設など公共性の高い社会的インフラ機能としての役割を担う商業施設に対する公的支援の強化

防災や災害時の避難に資する設備投資への税制上の支援措置、及び公共の事業に提供される施設や芸術・文化に貢献する公益的性格の強い施設への税制上の支援など公的支援の強化

③DX投資促進税制の更なる要件緩和・手続きの簡素化と適用期限の延長

テナントとディベロッパーが一体となりデジタル化を加速するため、DX投資促進税制の対象要件の拡大等

④環境対策に対する取り組み強化に係る支援措置の更なる充実

カーボンニュートラル等の環境対策への投資、プラスチック資源循環への取り組み、食品ロス削減投資、及びCO₂吸収源対策としての木材を活用した建築物に対する税制上の支援

⑤食品リサイクル法における「食品関連事業者」の対象拡大

食品廃棄物等の排出を取りまとめるSC運営主体を対象に追加

⑥廃棄物処理法における「専ら物」(古繊維)の定義の統一化

衣料品回収を積極的に進め資源を有効利用する観点から、広く衣料品を古繊維とすることの明確化

- ⑦パート従業員等の非正規雇用者等の就労拡大の阻害要因となっている、税と社会保障に係る「壁」の撤廃に向けた抜本的な制度改正**
女性活躍の機会拡大やパート従業員の良好な雇用環境整備、所得の増加による個人消費のさらなる拡大を図るため、税と社会保障に係るいわゆる「壁」の解消に向けた抜本的な制度改正
- ⑧生産性を高め、多様な働き方を可能とするサテライトオフィスやシェアオフィスの設置等に対する支援**
- ⑨外国人労働者の在留資格「特定技能」の対象分野拡大と外国人留学生の就職に関する在留資格の要件緩和**
一定の要件を満たした外国人労働者の就業資格である「特定技能」の職種への「販売職」「警備業」の追加指定等
- ⑩企業主導型保育事業に係る支援措置の復活と運営条件の緩和**
仕事と子育てが両立できる環境を整備し、離職の防止、就労の継続、女性の活躍等の推進に資するため、企業主導型保育事業に係る固定資産税等の特例措置の復活と適用範囲の拡大等
- ⑪外国人旅行者向け消費税免税制度等の改正に伴う制度・運用及び事業者の負担軽減と利用者の利便性向上に向けた制度改正**
令和7年度税制改正大綱において詳細が決定予定の持出確認型外国人旅行者向け消費税免税制度について、免税店での準備を踏まえたスケジュールとシステム改修に係る支援、一般物品と消耗品の分別及び消耗品に係る上限や特殊包装の撤廃、免税対象者の確認など免税手続きの負担軽減
- ⑫不動産にかかる多重税制等の適正化**
店舗の資産に係る耐用年数の実態に合わせた短縮、不動産取得税、登録免許税、固定資産税、印紙税、償却資産税、事業所税、法人事業税など不動産にかかる多重課税の排除、法人課税の総合的な負担軽減
- ⑬中心市街地の商業施設等の改修・利活用に係る支援措置の要件緩和**
地域経済の核である中心市街地に立地する商業施設等の改修・利活用を図る取り組みに対する支援制度の要件緩和
- ⑭地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の特例措置の延長**
地域密着の商業施設として地方の活性化とそこに根差すSC発展の好循環を推進するために、地方創生応援税制の特例措置を延長
- ⑮ウォークアブルな「まち」空間の活性化の推進に向けた、道路・公開空地・公園・緑地等の一体的利活用のための規制緩和**
ウォークアブルな「まち」空間を有効活用することで街のにぎわいを創出し地域活性化を推進するために、各種規制の緩和と手続きの簡素化
- ⑯建築物のバリアフリー基準の見直しに伴う新たな義務的負担に対する支援制度の創設・拡充**
バリアフリー推進のための投資に対する新たな支援制度の創設または既存制度の拡充等
- ⑰テナント未入居部分のスケルトン竣工に向けた規制緩和**
テナント未入居の状態で新規開業する商業施設等における消防用設備等の設置基準等について、安全性を損なわない範囲での緩和等
- ⑱インボイス制度において建物共有者組合のような特殊な企業形態の処理の特例措置の導入**
再開発ビルの共有者組合のような適格請求書発行事業者と免税事業者が混在する場合でも適切な仕訳を行い一定の比率で配分する等の方法により、仕入れ控除できる特例措置の導入
- ⑲充電インフラ整備促進実現のための支援制度の拡充・強化**
EVの普及にともなう充電インフラの整備促進にあたっての支援対象の拡大、及び実態に合った適切な予算配分の確保や税制上の支援措置
- ⑳リース取引にかかる会計処理基準変更に伴う適用時期の猶予とシステム改修等に係る支援**
リース取引にかかる会計処理基準変更の実施にあたっては、企業経営に負担とならないよう適用時期について3年以上の猶予期間を設けることおよび、会計処理基準の変更に伴い必要となる財務会計システムの改修に係る支援

Ⅲ. 2024年の主な協会活動 2. 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞

第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞

最終ノミネートSC決定！各賞の発表は2025年4月下旬を予定

(1) 「日本SC大賞・地域貢献大賞」とは

「日本SC大賞」

2004年に協会創立30周年を記念して、これからのSCのあり方を示唆し社会的役割を果たしているSCを顕彰し、SC業界の一層の発展に寄与することを目的として創設。幅広い視野で総合的かつ客観的にみて参考・模範となるSCを選考します。

「地域貢献大賞」

当協会が策定した「地域貢献ガイドライン」(2007年1月、2020年3月一部改訂)をもとに、地域活性化に取り組み、地域のコミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを顕彰することを目的に、2008年に創設。特に地域貢献に優れたSCにつきましては、協会2代目会長でSC業界の礎を築いた故倉橋良雄氏の名前を冠した「倉橋良雄賞」を授与します。

(2) 「第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞」最終ノミネートSC決定

当協会は全国7支部(北海道、東北、関東・甲信越、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄)で活動しています。本賞の選考においては、各支部で支部ノミネート委員会を設置し、2024年7月31日より約4カ月間、厳密な選考のもと支部ノミネートSCを選出しました。その後、同年12月10日に開催した第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞第2回選考委員会において選考を行い、最終ノミネートSC(23施設)を選出しました。

＜第10回日本SC大賞＞ 最終ノミネート：16施設 ※地区順・施設名五十音順、地区は当協会支部管轄エリア

賞	施設名	地区
日本SC大賞 (金・銀・銅)	イオンレイクタウン	関東・甲信越
	軽井沢・プリンスショッピングプラザ	関東・甲信越
	三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY	関東・甲信越
	阪急西宮ガーデンズ	近畿
	ルクア大阪	近畿
	イオンモール広島府中	中国・四国
ニューフェイス賞	COCONO SUSUKINO	北海道
	麻布台ヒルズ	関東・甲信越
	三井ショッピングパーク ららぽーと門真・ 三井アウトレットパーク 大阪門真	近畿
リノベーション賞	ELM	東北
	フォレストサイドビル	関東・甲信越
	アミュプラザ長崎	九州・沖縄
ES賞	たまプラーザ テラス	関東・甲信越
	ラブリーパートナー エルパ	近畿
特別賞	HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE	北海道
	星が丘テラス	中部

＜第8回地域貢献大賞＞ 最終ノミネート：7施設

※地区順・施設名五十音順
地区は当協会支部管轄エリア

施設名	地区
maruyama class	北海道
エスパル仙台	東北
流山おおたかの森S・C	関東・甲信越
マーサ21 ショッピングセンター	中部
ピオレ姫路	近畿
さんすて福山	中国・四国
イオンモール宮崎	九州・沖縄

(3) 今後のスケジュール

最終選考 : 2025年1～3月
 受賞SC発表 : 2025年4月下旬
 表彰式 : 2025年6月2日(第53回定期総会同日)

【参考】第9回日本SC大賞・金賞／第7回地域貢献大賞(倉橋良雄賞)受賞SC



画像提供：静鉄プロパティマネジメント㈱

第9回日本SC大賞・金賞
『新静岡セノバ』



画像提供：九州産交ランドマーク㈱

第7回地域貢献大賞(倉橋良雄賞)
『SAKURA MACHI Kumamoto』

日本 SC 大賞・歴代受賞 SC

※SC 名・賞名は受賞当時のもの、()内は推薦(ノミネート)支部名

日本 SC 大賞	金賞	銀賞	銅賞
第 9 回	★新静岡セノバ (経済産業省商務・サービス審議官賞) (中部)	★ELM (エルム) (東北)	★MARK IS みなとみらい (関東・甲信越)
第 8 回	★二子玉川ライズ・ショッピングセンター (関東・甲信越)	★ルクアノルクアイーレ (近畿)	JR タワー (アピア・エスタ・パセオ・ステラブレイス) (北海道)
第 7 回	★御殿場プレミアム・アウトレット (中部)	★渋谷ヒカリエ (関東・甲信越)	★イオンレイクタウン (関東・甲信越)
第 6 回	★テラスモール湘南 (関東・甲信越)	★JR博多シティ (アミュプラザ博多) (九州・沖縄)	★軽井沢・プリンスショッピング プラザ (関東・甲信越)
第 5 回	★阪急西宮ガーデンズ (近畿)	★ルミネエスト店 (関東・甲信越)	★エスパル仙台店 (東北)
第 4 回	★ラゾーナ川崎プラザ (関東・甲信越)	★パークブレイス大分 (九州・沖縄)	★イオンモール岡崎 (中部) ★天王寺ミオ (近畿)
第 3 回	★ららぽーと TOKYO-BAY (関東・甲信越)	★アミュプラザ鹿児島 (九州・沖縄)	★モリタウン (関東・甲信越)
第 2 回	★ルミネ横浜 (関東・甲信越)	★札幌ステラブレイス (北海道) ★御殿場プレミアム・アウトレット (関東・甲信越)	★アトレ恵比寿 (関東・甲信越) ★イオン岡崎ショッピングセンター (中部) ★HEP FIVE (近畿)
第 1 回	★玉川高島屋ショッピングセンター (関東・甲信越)	★ファッションドーム 141 (東北) ★TOKYO-BAY LaLaport (関東・甲信越)	—

第 9 回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：グランベリーパーク (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：スマーク伊勢崎 (関東・甲信越) <p><ES賞>◆ピオレ姫路 (近畿)</p> <p><特別賞>◆VISON (ヴィソン) (中部)</p> <p><50周年記念特別賞>◆渋谷 PARCO (関東・甲信越)</p>
第 8 回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：ギンザシックス (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：ニッケパークタウン (近畿) <p><ES賞>◆JR タワー (アピア・エスタ・パセオ・ステラブレイス) (北海道)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新静岡セノバ (中部) <p><特別賞>◆南三陸さんさん商店街 (東北)</p>
第 7 回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：モリパークアウトドアヴィレッジ (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：金沢百番街 (中部) <p><ES賞>◆イクスピアリ (関東・甲信越)</p> <p><特別賞>◆オガールプラザ・オガールベース (東北)</p>
第 6 回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：グランフロント大阪 ショップ&レストラン (近畿) ◆リノベーション賞：くずはモール (近畿) <p><特別賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆おのだサンパーク (中国・四国) ◆コロド室町 (関東・甲信越) ◆渋谷ヒカリエ (関東・甲信越)
第 5 回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：テラスモール湘南 (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：江釣子ショッピングセンター・パル (東北) ◆景観賞：なんばパークス (近畿) <p><40周年記念>◆SHIBUYA109</p> <p><特別賞>◆御殿場プレミアム・アウトレット</p>
第 4 回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：阪急西宮ガーデンズ (近畿) ◆エコロジー賞：イオン大日ショッピングセンター (近畿) ◆リノベーション賞：該当なし ◆空間デザイン賞：箕面マーケットパーク ヴィソラ (近畿)
第 3 回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆リ・ボーン賞：エスト (近畿) ◆景観賞：星が丘テラス (中部) ◆人にやさしいSC賞：イオンモール下田 (東北) ◆ニューフェイス賞：ラゾーナ川崎プラザ (関東・甲信越)、高松丸亀町壱番街 (中国・四国)
第 2 回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニティ貢献賞：ファッションドーム 141 (東北) ◆ブランディング賞：SHIBUYA109 (関東・甲信越) ◆タウンリノベーション賞：丸ビル (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：京阪モール (近畿) ◆サイン&デベロップ賞：ダイヤモンドシティテラス (近畿) ◆副都心振興賞：アルパーク (中国・四国) ◆マルチメディアコンプレックス賞：イムズ (九州・沖縄)

第1回	<p><特別賞> <環境特別賞>イオングループSC (イオン㈱、イオンモール㈱) (関東・甲信越) <CS特別賞>ルミネ (㈱ルミネ) (関東・甲信越)</p>
	<p><部門賞> ◆マーチャндаesigning: パセオ (北海道) ◆マーケティング: 江釣子ショッピングセンター・パル (東北) ◆まちづくり: 香林坊アトリオ (中部) ◆ふれあい・わくわく空間づくり: ギャレザグレード アウトドアーズ大阪 (近畿) ◆地域活性化: シーモール下関ショッピングセンター (中国・四国) ◆ローコスト運営: アミュプラザ長崎 (九州・沖縄)</p>

地域貢献大賞・歴代受賞SC

第7回	<p>大賞 (倉橋良雄賞) 国土交通省都市局長賞</p>	SAKURA MACHI Kumamoto (九州・沖縄)	
	地域貢献賞	北海道	イオンモール苫小牧
		東北	イオンモールいわき小名浜
		関東・甲信越	ビナウオーク
		中部	カラフルタウン岐阜
		近畿	アリオ八尾
		中国・四国	イオンモール高知
第6回	<p>大賞 (倉橋良雄賞)</p>	ポップタウン住道オペラパーク (近畿)	
	地域貢献賞	北海道	赤れんがテラス
		東北	イオンモール天童
		関東・甲信越	南砂町ショッピングセンター スナモ
		中部	ラスカ熱海
		中国・四国	イオンモール倉敷
		九州・沖縄	鳥栖プレミアム・アウトレット
第5回	<p>大賞 (倉橋良雄賞)</p>	トレッサ横浜 (関東・甲信越)	
	地域貢献賞	北海道	イオンモール札幌発寒
		東北	エスバル仙台
		中部	新静岡セノバ
		近畿	グンゼタウンセンターつかしん
		中国・四国	ザ・モール周南
		九州・沖縄	マルヤガーデンズ
第4回	<p>大賞 (倉橋良雄賞)</p>	たまプラーザテラス (関東・甲信越)	
	地域貢献賞	北海道	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン
		東北	泉パークタウン・タピオ
		中部	アスナル金山
		近畿	あべのキューズモール
		中国・四国	イオンモール倉敷
		九州・沖縄	木の葉モール橋本
第3回	<p>大賞 (倉橋良雄賞)</p>	イオンモール石巻 (東北)	
	地域貢献賞	北海道	4丁目プラザ
		関東・甲信越	ダイナシティ
		中部	T-FACE
		近畿	御影クラッセ
		中国・四国	高松丸亀町壱番街
		九州・沖縄	パークプレイス大分
	特別賞		シーサイドタウンマスト (東北)

第2回	大賞(倉橋良雄賞)		シーモール下関ショッピングセンター(中国・四国)
	地域貢献賞	北海道	新さっぽろアーキシティ サンピアザ・デュオ
		東北	盛岡駅ビル・フェザン
		関東・甲信越	丘の上プラザ
			ミウイ橋本
		中部	刈谷ハイウェイオアシス
		近畿	ニッケパークタウン
九州・沖縄	イオンモール宮崎		
第1回	大賞(倉橋良雄賞)		江釣子ショッピングセンター・パル(東北)
	地域貢献賞	北海道	イオン札幌平岡ショッピングセンター
		関東・甲信越	佐野プレミアム・アウトレット
			アルカキット錦糸町
		中部	フューチャーシティ・ファボーレ
		近畿	エコール・マミ
		中国・四国	アルパーク
九州・沖縄	ゆめタウン光の森		

支部特別賞

第9回 日本SC大賞 ・ 第7回 地域貢献大賞	支部特別賞	北海道	東武サウスヒルズ
		東北	キャッセン大船渡
		関東・甲信越	コクーンシティ
		中部	イオンモール白山
		近畿	京都ポルタ
		中国・四国	さんすて岡山
		九州・沖縄	JR博多シティ

日本SC大賞・地域貢献大賞サイト
https://www.jcsc.or.jp/sc_support/scawards



IV. その他協会活動トピック 3. SC 経営士会

SC 経営士会

「SC の未来像の共創」に向けたアイデアソンを実施、1月22日に成果発表会を開催

「SC 経営士」は、SC マネジメントに関する唯一の認定資格で、約 830 人（2024 年 4 月時点）の SC 経営士がさまざまな SC のビジネスシーンで活躍しています。

SC 経営士資格保有者で組織する「SC 経営士会」は、SC 経営士相互の研鑽と交流のほか、SC 業界が抱える課題解決に向けた研究など、専門的な見地から協会のシンクタンクの役割を担っています。

（1）研鑽・研究グループによる“SC の未来像”の研究

SC 経営士会 研鑽・研究グループでは、2021 年度後半から 2022 年度にかけて“アフターコロナを見据えた SC の未来像”をテーマに研究を行い、「マーケティング」「ESG」「DX・メタバース」「地域活性」「ディベロッパーとテナントの関係」の 5 つの切り口から SC が喫緊で取り組むべき課題を抽出し、その研究成果を動画形式にまとめて発信しました。2023 年度では 10～12 月に全国 7 支部で実施した「協会創立 50 周年記念事業」においてこれまでの研究成果をセミナー形式で発表し、約 500 名の方にご参加いただきました。



【SC 経営士会】全 8 回分の研究動画を公開中
https://www.jcsc.or.jp/sc_education/keieishi/sc-keieishikai



（2）“SC の未来像”の共創へ SC 経営士会独自のアイデアソン開催

2024年度は、今までの取り組みを土台とし、SC 経営士同士の会社の垣根を越えたアウトプットを重視した「アイデアソン」を実施しています。

【アイデアソンとは】 「アイデア」と「マラソン」が掛け合わさってできた造語。

決められた時間のなかでグループごとにアイデアを出し合い、マラソンをするようにブラッシュアップさせ、結果を出す。たくさんのアイデアを出し、それらを良質なアイデアにまとめ上げる手法。

◇企画概要

①企画名 : 『アイデアソンでSCの未来をつくろう・かたろう』

②実施内容 :

「アフターコロナを見据えたSCの未来像」にて題材とした5つのテーマに対し、興味関心・課題意識があるテーマに対してSC経営士から参加者を募り、チームでの討議を経て、SCの課題や目指すべき未来に対する事業アイデアを提案します。その過程において、生成AIを活用し、新たな視点・発想も取り込むことを意識します。

約5カ月間にわたるプログラムで、ワークショップや専門家・当事者などへのインタビューを実施し、集大成となる2025年1月22日(水)の成果発表会では各チームによるアイデアのプレゼンテーションを実施します。

③参加者 : アイデアソン参加者19名+サポーター（有識者）4名

④協力企業 : ㈱VIG（Vision Incubate Group）



ワークショップの様子(9月)



チーム討議の様子(10~12月)

(3) 成果発表について

これまでの各チームの取り組みについて、以下のとおり成果発表会を開催します。冒頭、コメンテーターを務める猪口純路氏に基調講演として、「マーケティング視点で見たショッピングセンターへの提言(仮)」と題し講演いただいた後、4チームによる成果発表を実施します。チームごとのプレゼンテーションに対してコメンテーター3名からフィードバックするほか、より良い発表を行ったチームに対し、SC経営士および当日の聴講者から投票いただき、後日表彰を行います。

日時：2025年1月22日(水) 15:50~17:10 (予定) ※第49回日本ショッピングセンター全国大会初日

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール

コメンテーター：

(敬称略)

小樽商科大学 大学院商学研究科 アントレプレナーシップ専攻 教授

猪口 純路

日本ショッピングセンター協会 SC経営士会 会長 (イオンモール(株) 専務取締役)

藤木 光広

日本ショッピングセンター協会 SC経営士会 副会長 (㈱JTB 常務執行役員 地域交流担当 CX推進担当)

三輪 美恵

発表内容(予定)

チームカテゴリ/テーマ/概要	
①マーケティング	
テーマ	SC 運営におけるマーケティングの「虎の巻」 規模の拡大や人手不足を背景に SC はより効率的な運営が求められているが、そのノウハウは属人的で蓄積が少ないことに悩む企業も多い。そこでノウハウを蓄積する仕組み+営業データ分析に AI を活用し、運営をサポートする事業を提案、SC とスタッフが共に成長できる未来を目指す。
②ESG	
テーマ	SC における ESG の事業反映を経済価値に可視化する 世界で注目の高まる企業の ESG に対する取り組み姿勢。日本でも Gen Z を中心に ESG の観点は個人の消費感度にまで影響を与えており、生活の質と密接に関わりつつある今、生活を豊かにする SC こそ、お客様が様々な消費のシーンで ESG を感じられるように事業に反映すべきと考える。そのために、経済を価値化することが難しい ESG に関する取り組みを可視化し、事業反映しやすいシステム・AI を活用して構築したい。
③地域活性	
テーマ	『SC 型地域連携合意形成ツール』の活用による地域連携の深化、最適化 長期にわたって地域と共生する。そのために、「地域との関係性を強化」し、「地域との意思疎通力の強化」を図っていく必要がある。地域のステークホルダーが私たち SC に寄せる期待や要望などを適宜收拾し AI を用いて合意形成を獲得するシステムを提案し、SC の未来を創造する。
④ディベロッパーとテナントの関係	
テーマ	SC 特化型 人財マッチングサービス『クロスサポート』構想 「人口減により店舗スタッフが集まらず営業を継続できない」「出店できない」というテナントの声が増加している。顕在化しているテナントの「人財難」に、多様な人材がリアルに集まる強みを持つ SC ならではの解決方法を提案する。

※今回は「DX・メタバース」に関する取り組みは実施していません。

IV. 第49回日本ショッピングセンター全国大会 1. SCビジネスフェア2025

出会い、発見、チャンス、そして未来へ。

SCビジネスフェア2025

ビジネスチャンスの創出、そしてSC業界の課題解決につながる情報を発信
約150社が集結 初出展は26社

(1) 開催概要

- ・日時：2025年1月22日(水)～24日(金) 10:00～18:00 ※最終日のみ10:00～17:00
- ・会場：パシフィコ横浜 展示ホールC・D/アネックスホール
- ・出展規模：149社 399小間 (初出展 26社)
 - ・ディベロッパー 38社 133小間
 - ・テナント 32社 92小間
 - ・DX・サポート 74社 166小間
 - ・発見マルシェ 5社 8小間
- ・特別協賛：キュービーネット(株)、(株)JR東日本クロスステーション、JLLリテールマネジメント(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)メトロプロパティーズ、八重洲地下街(株)

前回「SCビジネスフェア2024」会場・懇親パーティの様子



(2) 注目のコンテンツ

1) 有料セミナー (開催日：1月22日(水)/会場：アネックスホール)

<プログラム>

(敬称略)

■基調講演■

2025年3月にまちびらきを迎える「TAKANAWA GATEWAY CITY」の概要、開発背景のほか、今後の戦略についてお話いただきます。

『JR東日本のまちづくり ～TAKANAWA GATEWAY CITYを中心に～』

喜勢 陽一 (東日本旅客鉄道(株) 代表取締役社長)



■特別講演■

北海道で独自のサプライチェーンを構築するセイコーマート。(公財)日本生産性本部 サービス産業生産性協議会の「顧客満足度指数」調査では、コンビニ部門で9年連続1位を獲得する同社の戦略についてお話いただきます。

『地域と共に歩む経営～“地域のこし”から“地域おこし”へ』

丸谷 智保 (株)セコマ 代表取締役会長)



2) 無料セミナー（会場：展示ホールC・D内 プレゼンテーション会場）

出展者によるプレゼンテーションや主催者企画など、多彩な講座を用意しました。

■出展者プレゼンテーション■

総勢19社の出展者からは、アプリを活用したSCでの好事例や、地図・人流データを活用したマーケット調査方法など、明日のSCビジネスに活用できるさまざまな取り組みを紹介します。

	登壇予定企業	
1月22日(水)	(株)GROWTH VERSE	(株)プライムプレイス
	ワンスアラウンド(株)	グローリー(株)
	技研商事インターナショナル(株)	(株)C.P.O 設計
	カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)	東京カートグラフィック(株)
	(株)メディカルシステムネットワーク	
1月23日(木)	(株)クウゼン	(株)アソビスキー
	(株)リゾーム	日本カルミック(株)
	(株)乃村工藝社	
1月24日(金)	(株)クラウドポイント	(株)ギックス
	JLL リテールマネジメント(株)	ネイス(株)
	(株)HataLuck and Person	

■ビジネスアシスト（会員限定企画プレゼンテーション） ■ NEW

今回初めて、当協会会員企業によるプレゼンテーション企画を設けました。

	登壇予定企業	発表テーマ
1月23日(木)	(株)日本コンサルタントグループ	SC 営業担当者のためのコミュカ&サポートカアップセミナー ～聴いて・支えて・解決する！店長との対話術～

■主催者企画■

主催者企画では、協会の専門委員会やSC経営士会より、SC業界の課題解決や新たな可能性について紹介します。

	委員会・団体名	発表テーマ
1月23日(木)	人材確保対策特別委員会	テナント従業員不足解消に向けて SC が重点的に取り組むべき事項とは ～ショッピングセンターにおけるテナント従業員確保のためのディベロッパーとテナントによる意見交換より～
1月24日(金)	デジタルトランスフォーメーション委員会	売上報告の効率化に向けた業界への提言 ～知っていますか？これからの業界標準4項目～
	SC 経営士会	SC の未来を語ろう ～体感する SC・スポーツ×商業の可能性～
	SC アカデミーテラス	新時代・SC の未来を語る ～今、見ておきたい SC・取組事例～

SC ビジネスフェア 2025 サイト

<https://www.scbizfair.com>



(3) チャレンジピッチ (会場：展示ホールC・D内 プレゼンテーション会場)

本格的な郊外型SCが日本に誕生して50数年が経過し、その間、SCは生活者のライフスタイルの変化に柔軟に対応し、中心市街地や郊外、駅やバスターミナルといった交通拠点などの多様な立地に広がり発展を遂げてきました。

SCが今後もお客様の暮らしに寄り添う社会インフラとしてのさらなる発展と、SCの強みである「リアルな場」としての価値を高め、お客様がよりよい体験を得られる場になれることを目指して「チャレンジピッチ2025～NEXT SC～」を開催します。

3回目となる今回は、スタートアップと事業会社をつなぐピッチイベントを手がける、New Commerce Ventures(株)と共催し、より多くの協業・導入機会の創出を目指します。

ピッチ終了後には、登壇企業との交流会も実施します。

日時：2025年1月23日(木) 15:00～18:00

会場：パシフィコ横浜展示ホール C・D 内
プレゼンテーションB会場

スケジュール：

- 15：00 オープニングセレモニー
- 15：05 ピッチスタート 13社
1社6分 (5分プレゼン+1分質疑応答)
- 16：40 登壇企業との交流会
- 17：55 閉会

登壇予定企業 (登壇順)：

New Commerce Ventures(株)



小売流通領域特化型のベンチャーキャピタルとして、スタートアップの成長支援およびスタートアップと事業会社の共創を推進する事業を行っている。定期的に100名超のスタートアップ、事業会社が参加するオープンイノベーション推進イベント「New Commerce Pitch」を開催する。

	登壇企業名	ピッチタイトル
1	(株)coordimate	スマートミラー×AIによる新たな来館者体験の提供
2	PinPon(株)	最新のAI技術による小売業のイノベーション
3	(株)find	落とし物管理をスマートに ～2,300箇所で開催されているAIツール～
4	(株)ReCute	ヘアアイロンのレンタルスポット「ReCute」
5	TieUps(株)	顧客の心をつかむ：再来訪を促すCXを高める新戦略
6	(株)Kiva	Webアクセシビリティで創るNEXT SC ～すべての人に平等な未来を～
7	(株)SUPER STUDIO	統合コマースプラットフォーム eforce で実現する “成果に繋がる”アジャイルデータ活用
8	(株)カンリー	7万店舗超の実績！Saas×AIで人手不足・集客課題を解決！最新事例のご紹介
9	(株)Linc	外国人材採用をシンプルに グロハブ活用のご提案
10	(株)VisionAI	オーダーメイド型省人化店舗ソリューション
11	(株)GROWTH VERSE	ミセシルをAIでアップデート「ミセシリスギル」
12	(株)shizai	ショッピングセンター・テナント様の梱包・包装資材を最適化するプラットフォーム「shizai」
13	(株)小田急 SC ディベロップメント (株)AGORA	SCから始まる地方創生イノベーション

チャレンジピッチ 2025 サイト
<https://www.scbizfair.com/challengepitch/>



IV. 第49回日本ショッピングセンター全国大会 2. 第30回SC接客ロールプレイングコンテスト

第30回記念 SC 接客ロールプレイングコンテスト

1月24日に全国大会を開催、総勢835名の中から“SC接客日本一”が決定！

(1) 「SC 接客ロールプレイングコンテスト」とは

全国のSCに出店するテナント店舗スタッフが接客技術を競うコンテストです。

SC業界の一層の発展を願い、SC内店舗で働くスタッフのスキル向上を図り、お客様にいつまでも支持され、愛されるSCづくりを目指すことを目的に、1995年度から開催しています。

毎年全国7支部（北海道、東北、関東・甲信越、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）において8大会（関東・甲信越支部は東京大会、関東・甲信越大会の2大会）を開催。「ファッション・物販部門」「食品・飲食・サービス部門」の2部門に分かれて競技を行い、各日で多くの優秀者を表彰するとともに最も優秀だった競技者1名※1が支部代表として選抜され、全国大会に出場します。

全国大会では、支部代表者のなかから栄えある「大賞」＝“SC接客日本一”を決定します。また大賞受賞者には併せて経済産業大臣賞が贈られる予定です。

※1：支部大会によって1日に2部門開催する場合は、各部門1人ずつ支部代表者を決定。

(2) 第30回記念 SC 接客ロールプレイングコンテスト

第30回記念 SC 接客ロールプレイングコンテスト支部大会を、2024年9～11月にかけて開催しました。

2024年度は、第30回の記念大会ということもあり、会場内に記念タペストリーを設置。当日は競技者や応援スタッフがタペストリー前で記念撮影を行う様子も多くみられました。

全国で総勢835名が参加し、選抜された支部代表28名が、2025年1月24日（第49回日本ショッピングセンター全国大会3日目）に開催する全国大会に出場します。また、全国大会では、過去大会の大賞受賞者等から30回を記念したメッセージをいただき、放映する予定です。

**(3) 全国大会**

日時：2025年1月24日(金) 11:50～18:50 (予定)

会場：パシフィコ横浜 会議センター メインホール

※入場無料

【参考】前回（第29回）全国大会の様子

SC 接客ロールプレイングコンテストサイト
https://www.jcsc.or.jp/sc_convention/roleplaying



全国大会 出場者一覧

(敬称略)

支部	部門	氏名	SC名	店名
北海道	ファッション・物販	岩瀬 未来	三井アウトレットパーク 札幌北広島	フェスタリア ビジュソフィア
	食品・飲食・サービス	太田 滯香	新さっぽろアーキシティ デュオ	ラフィネ
東北	ファッション・物販	菊地 亜衣子	エスパル仙台	JEANASiS
	食品・飲食・サービス	高橋 真維	ジェイアール会津若松駅エスシー	おみやげ処会津若松
関東・甲信越	ファッション・物販	佐藤 祐樹	三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY	ビーミングライフストア バイビームス
	ファッション・物販	大澤 優子	三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY	ローリーズファーム
	ファッション・物販	石原 茉奈	柏高島屋ステーションモール	ロクシタン
	ファッション・物販	後藤 麻帆	アトレ松戸	ロクシタン
	食品・飲食・サービス	園田 みのり	三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ	フランセ
	食品・飲食・サービス	小舘 哲也	三井アウトレットパーク 木更津	宮武讃岐うどん
東京	ファッション・物販	寺尾 円香	渋谷ヒカリエ	オデット エ オディール
	ファッション・物販	石後 知美	二子玉川ライズ・ショッピング センター	ビス
	ファッション・物販	畠山 伊代	光が丘イマ	アエナ
	食品・飲食・サービス	山口 莉奈	アルカキット錦糸町	横濱元町ドリア
	食品・飲食・サービス	来栖 法子	エキュート品川	トウキョウ豚骨ベース メイド バイ 博多一風堂
中部	ファッション・物販	南雲 勇志	三井ショッピングパーク ららぽーと名古屋みなとアクルス	アカチャンホンポ
	ファッション・物販	伊藤 聡	タカシマヤ ゲートタワーモール	ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング
	食品・飲食・サービス	中村 将之	プライムツリー赤池	やなか珈琲店
近畿	ファッション・物販	梅谷 啓一	ルクア	ティーケー タケオキクチ
	ファッション・物販	関 優子	三井ショッピングパーク ららぽーとエキスポシティ	LOGOSSHOP
	ファッション・物販	有本 舞子	京都ポルタ	ファンケルビューティ &ヘルス
	食品・飲食・サービス	阪上 直美	グランフロント大阪 ショップ&レストラン	茅乃舎
中国・四国	ファッション・物販	中村 歩未	THE OUTLETS HIROSHIMA	asics FACTRY OUTLET
	ファッション・物販	市川 莉緒	岡山一番街	ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング
	食品・飲食・サービス	櫻田 惟	アリオ倉敷	ママのリフォーム
九州・沖縄	ファッション・物販	奥野 真愛	天神地下街	アズール バイ マウジー
	ファッション・物販	中川 美結	アミュプラザ博多	ウカストア
	食品・飲食・サービス	磯部 龍太郎	キャナルシティ博多	バンダイナムコ CrossStore 博多

V. その他

1. 2025年の主な行事予定

2025年の主な行事予定

日程	イベント名	場所
1月22日(水) ～24日(金)	第49回日本ショッピングセンター全国大会 ・SCビジネスフェア2025(1/22～24) ・第30回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会(1/24)	パシフィコ横浜
4月3日(木)	SCアカデミー 第18期修了証授与式・第19期開講式	ホテル メトロポリタン エドモント
6月2日(月)	第53回定期総会 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞表彰式	ホテル ニューオータニ
7月(予定)	第37回SC緑陰トップフォーラム	未定
8月6日(水)	2025年度夏季定例記者懇談会 会員広報・メディア交流会	未定
11月(予定)	第24回秋晴れトップフォーラム	未定
12月16日(火)	2025年度冬季定例記者懇談会	未定

【参考資料】

●一般社団法人 日本ショッピングセンター協会とは

日本ショッピングセンター協会は1973年4月、わが国のショッピングセンターの発展を通じて消費者の豊かな生活づくりと地域社会の振興に貢献することを目的に設立された。その後1975年4月に、社団法人として通商産業省（現経済産業省）から許可を受けた。2012年4月1日、内閣府から認可を受け共益的活動を中心として行う一般社団法人に移行。

会 長	清 野 智	東日本旅客鉄道(株)	顧問
副 会 長	大 野 恵 司	イオンモール(株)	代表取締役社長
〃	大 林 修	三井不動産商業マネジメント(株)	代表取締役社長
〃	佐 野 公 哉	片倉工業(株)	相談役
〃	福 田 三千男	(株)アダストリア	代表取締役会長
〃	棕 本 充 士	(株)グルメ杵屋	代表執行役社長
専務理事	椿 浩	(一社)日本ショッピングセンター協会	

会員数(2024年12月1日時点)

第一種正会員 297社 第二種正会員 265社 賛助会員 376社 / 合計 938社

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会 広報担当
〒112-0004
東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 15階
電話 03-5615-8524 FAX 03-5615-8539
e-mail pr@jcs.or.jp